

ましこアカマツ復活プロジェクトの取り組み！ （平成30年12月5日）

かつて益子の山にはアカマツが豊富に生育し、豊かな環境と景観を形作るとともに、益子焼の窯焚きに利用されていました。

しかし、現在ではマツ枯れなどの影響により、その多くが失われています。

そこで、益子町では町木でもあり、歴史ある益子の風土の象徴となるアカマツを復活させる「ましこアカマツ復活プロジェクト」を実施しています。

ましこアカマツ復活プロジェクト

- 益子町内の小学生等により、かつて町内の山に数多く生育し益子町の風土を形作り古くから窯業の燃料として利用され『焼き物の里益子』のシンボルともいえるアカマツによる森づくりを行う取り組み。
- 同時にアカマツと町とのつながりの歴史について学び、子供たちの郷土愛を育み、深めていくとともに、自然や森林の大切さ、木を使うことの意義、地域住民の森づくりへの理解促進を図る取り組み。
- 平成29年8月に実行委員会を設立し、取り組みをスタートさせました。

平成30年12月5日(水)晴れ

プロジェクト2年目、「枝打ちの体験学習」が、益子の森のアカマツ林において実施され、益子町立益子小学校6年生が体験しました。

今回は、その様子をお知らせしたいと思います。

対象のアカマツ林（平成28年撮影）



昨年に引き続き、平成30年11月に、実行委員会の中心メンバーである〔益子里山の会〕の方々が下刈り等の手入れを実施してくださいました。子供たちが入れるように、下準備です。

平成28年度は、このような状況でした。





安全第一に！

子供たちが到着する前に、指導にあたる益子里山の会の方々が、入念に打ち合わせです。

児童たちが到着！

益子小学校6年生
児童約50名、引率の先生3名
それぞれがヘルメットを手に、
緊張のおももちです。



町木アカマツ について

難しい話は短めに。
まず、やってみよう！

エー！ ここを登っていくの？

あえて、歩道ではなく、林の中を登って
いきます。これも体験のひとつ。



益子小学校の精鋭部隊が 道なき道を通り、現場到着！



早速、枝打ち作業に取り掛かります。

こんなノギリ初めて！



上手！その調子！



みんなで協力！



出来るだけ幹に沿って



力を入れ過ぎないように！



高いところは、僕にまかせて！





みんな！キレイなアカマツ林になったかな？



作業前



作業後

枝を払ってもらったアカマツの樹々。サッパリとしました。



帰りの子供たちの後ろ姿。心なしか頼もしく感じました。

年明けには、植栽プロジェクトが待っています。
次の主役は、益子小学校の5年生。実行委員会の皆様、よろしくお願いします。

この体験教室の実施に当たっては、「とちぎの元気な森づくり県民税」が使われています。